

大正時代の博覧会

大正から昭和初期にかけて、鉄道や電気が暮らしの中に浸透し、西洋文化の影響を受けた近代的なライフスタイルに人々は憧れを抱くようになります。日本社会が大量消費、大量生産の時代へと変化していく中で、新しい生活を象徴する電気や鉄道にスポットを当てた博覧会、生活改善や教育を目的とした女性や子どもをテーマにした博覧会が各地にひろがっていきました。

大正時代にあった大阪においては、大阪市電気軌道開業満二十年記念交通博覧会（大正12・1923年）、大正14年記念博覧会（大正14・1925年）、電気大博覧会（大正15・1926年）、大正16年記念博覧会（大正16・1927年）、大正17年記念博覧会（大正17・1928年）、大正18年記念博覧会（大正18・1929年）、大正19年記念博覧会（大正19・1930年）、大正20年記念博覧会（大正20・1931年）、大正21年記念博覧会（大正21・1932年）、大正22年記念博覧会（大正22・1933年）などが開催されました。



たいけいほうしゅうくこうつうでんきはくらんかいちようかんづ
大正奉祝交通電気博覧会鳥瞰図（株式会社乃村工藝社蔵）

戦後最大の博覧会「大阪万博」

戦後、見事に復興を遂げた日本は、昭和43(1968)年にはGNPで世界第2位となるなど、高度経済成長期の真っただ中にありました。アジアで初となった昭和39(1964)年の東京オリンピックの開催に続き、万国博覧会開催への機運が高まっていました。

昭和40(1965)年に日本は国際博覧会条約の加盟国となり、正式にBIE(博覧会国際事務局)によって昭和45(1970)年の日本万国博覧会(大阪万博)の開催が承認されました。「人類の進歩と調和」をテーマに掲げ、183日間で6421万人の人を集めた万博史上最大の博覧会となりました。映像技術など最新のテクノロジーを駆使したパビリオンの展示は、人々を魅了し、大きな衝撃を与えました。これほど来場者を集め予算を投入し、国を挙げて人々が熱狂したイベントは、それ以前もそれ以後も見られない、まさに歴史に残るイベントでした。



'70大阪万博ペンナント（株式会社乃村工藝社蔵）

INFORMATION

大阪市立住まいのミュージアム
大阪くらしの今昔館

TEL:06-6242-1170

FAX:06-6354-8601

<http://konjyakukan.com/>

〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20
住まい情報センター8階

休館日

火曜日。展示替臨時休館あり

開館時間

午前10時～午後5時（入館は4時30分まで）

入館料

常設展：一般：600円／団体500円

高・大学生：300円／団体200円（要学生証提示）

企画展：300円

常設展＋企画展セット券：一般800円／団体700円

高・大学生：500円／団体400円（要学生証提示）

※団体は20人以上

※中学生以下、障がい者手帳等持参者（介護者1名含む）、
大阪市内在住の65歳以上の方は無料（要証明書提示）

アクセス

■Osaka Metro堺筋線・谷町線、

阪急電鉄「天神橋筋六丁目」下車3号出口直結

■JR「天満」下車商店街を北へ徒歩7分

■阪神高速道路守口線

長柄出口から都島通りを西へ500メートル



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しています。
最新情報をホームページでご確認ください。



大阪歴史博物館

大阪市中地区町名改正絵図

1869年、大阪府は大阪市中に四つの大組（おおぐみ）という行政区画を設定するとともに、各大組の下に10カ町ほどの町を組み合わせた町組（ちようぐみ）を新設した。さらに大阪府は1872年に町組を再編するとともに、江戸時代以来の町域も再編した。この地図は、この再編後に出版されたもので、赤や青、黄などに色分けされている部分は、再編された町組の区画を示す。この区画が後に市立小学校学区の区域のもととなり、現在の連合振興町会の区域へと発展していく。1872年の再編は、現在の地域コミュニティの出発点と位置づけられるのである。

大阪歴史博物館学芸員 飯田直樹

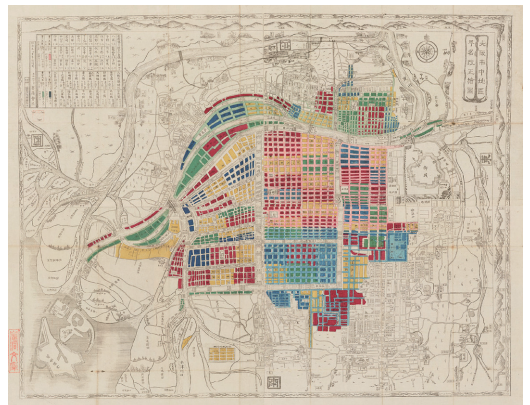
今回紹介した資料は、大阪歴史博物館の特別企画展「大阪の近代化と町―水帳から公文書へ―」にて3月1日(月)まで公開中です。 ※休館日：火曜（祝日の場合は翌平日）

最新情報をホームページでご確認ください。

住所 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32

TEL 06-6946-5728 FAX 06-6946-2662 ホームページ <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

アクセス Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・⑨号出口



大阪市中地区町名改正絵図
明治9(1876)年頃 大阪歴史博物館 蔵

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://ocm.osaka>

- 大阪歴史博物館
- 大阪城天守閣
- 大阪市立自然史博物館
- 大阪市立美術館
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 大阪市文化財協会
- 大阪市立科学館
- 天王寺動物園
- 大阪中之島美術館準備室
- 大阪くらしの今昔館